

平成31年度当初予算原案に係る公営企業局主要事業
(水道・工業用水道・下水道・モーターボート競走事業)の調整状況に対するパブリックコメント募集結果

寄せられたご意見の概要とそれに対する市の考え方は以下のとおりです。

No.	寄せられたご意見の概要	件数	市の考え方
次期水道・工業用水道ビジョン策定事業(1件)			
1	事業運営の効率化、経営基盤の強化とありますが、その手段として、尼崎市は水道民営化、コンセッション方式を検討していますか。水道料金の高騰、財政の不透明性、公営が民間を監視する難しさ、水質の懸念の懸念など、市民の負担がのしかかるなら、公営水道のままで、水道料金が上がる方がよいと思います。皆が安心、安全な水を飲めるように、公営水道を希望しています。	1	[その他] 今般の改正水道法により公共施設等運営権の民間事業者への譲渡、いわゆるコンセッション方式に向けた法整備が行われ、安心、安全な水道水の安定供給を持続していく新たな一つのメニューが示されたものと考えています。コンセッション方式については、その役割を十分に果たせるものであるか、他事業体の動向も注視しつつ、十分に調査、研究していく必要があると考えています。
下水道浸水対策事業(155件)			
○雨水貯留管整備(155件)			
整備ルートについて(1件)			
2	整備の結果、武庫之荘地区では貯留量が微量であるのであれば、巨額の費用がかかるこの事業を、大雨による被害の出やすい所から始めて頂きたい。	1	[意見を参考とする] 近年多発している突発的な局地的集中豪雨などに対し、本市下水道事業では概ね整備済の計画降雨水準(6年)を国が目指す中期的な目標である10年に引き上げることを下水道中期ビジョンに定め、ポンプ能力の増強をはじめとする浸水対策の取組みを進めてきております。 武庫分区については、現在の計画降雨量を上回る河川放流が認められないため、河川放流の不可能な地域において浸水対策上、最も有効な雨水貯留管を整備することとしました。
手法について(5件)			
3	浸水被害発生時の降雨シミュレーション結果に基づき浸水被害地区を特定し重点的に対策してほしい。	1	雨水貯留管はその規模の大きさ(管径約2~4m、延長約3.1km)から、埋設可能な場所が限られ、既存の下水道幹線にも接続する必要があり、また、武庫分区においては、分区全体地域の雨水が、標高の低い立花町等のJR沿線に集中することで浸水が発生しているため、その上流域で流れを遮断できることから、最適な整備ルートとして山手幹線及び尼崎宝塚線を選択したものです。
4	低地で浸水実績がある立花地区から、排水側溝・水路の排水能力アップ・水路溢れ水の一時貯留槽設置等を最優先で実施してほしいとの要望がある。	1	さらに、広さ、資材搬出入経路等を考慮し、なお且つ、事業の早期効果発現を見込むことができる現在案(城の越公園を発進基地、鳥場・東武庫公園を到達基地とする案)を最適な計画とし、平成30年度予算を計上しましたが、周辺住民の方々に理解していただくには至っておりません。
5	浸水対策と銘打つならば、浸水地域を救済するという目的を達成すべきです。理由「雨水貯留管」だけが有効であるわけではなく、他の早期実現可能な方法に転換すべき理由 浸水被害が起こる降雨に対して、市としての事業を展開すべき。	1	平成31年度取組みとしては、説明会等で頂いた意見を分析し、現計画案との比較検討案の作成に要する費用を新年度予算に計上する中で、工事計画案を取りまとめまいります。
6	立花地区の最適解を知りながら、国の基準を前提とする仕組みに縛られている。	1	
7	他にもっと良い方法があるのではないか。	1	
効果について(9件)			
8	雨水貯留管整備事業は降雨水準を46.8mm/hrを51.7mm/hrに引き上げることを目標としているが、それは武庫地域一律の目標であり低地で浸水被害実績がある立花地区を無視した計画で浸水被害地区の対策になっていない。	1	
9	雨水貯留管事業は、浸水被害が多い立花地区の方々が安心できる効果があるとは思えない。	1	
10	降雨シミュレーション結果、浸水する地区や過去の浸水被害地区は武庫分区全域ではなく立花地区の低地に限られている。浸水被害地区は特定できるので、そこを重点対策するべきではないか。	1	
11	工事をしても、浸水は防げない。浸水も防げない浸水事業のために、何年も公園を閉鎖される子供達や工事現場近くの住民は納得しないといけないのでしょうか。	1	
12	実際に浸水被害があつて困った地域を救えない。	1	
13	10年確率降雨対策に固執し、過去に被害を生じたレベルの降雨に対して、対策が全く考慮されていない。	1	

14	税金を無駄にせず、有効に使ってほしい。	1	1/8 ページ 回答(No.2~No.114)参照	
15	もっと安価な方法があるのではないか。税金の無駄遣いにならないよう検討してください。	1		
16	多額の予算をかけて行うのだから、もっとよく考えてほしい。	1		
事業の進め方・変更について(27件)				
17	工事現場直近住民への説明、同意が必要である。説明会のあり方自体検討してもらいたい。	1		
18	工事地域住民の多数の疑問に対する説明が不十分。	1		
19	反対署名が提出されているにも関わらず着工に踏み切ろうとする姿勢に問題がある。	1		
20	地域住民から理解・協力が得られるよう説明責任をしっかりと果たし、何を望んでいるのか意見を聞くべき。	1		
21	住民の意見を重視した工事計画を立てるべき。	1		
22	工事ありきの進め方は納得がいかない。	1		
23	住民不在の工事は認められない。	1		
24	工事の内容方法等について、地域住民の声をよく聞いてください。	1		
25	工事ありきの説明で住民の意見を聞く姿勢が見られない。	1		
26	工事が実現される前に納得できる正確な説明と住民への負担軽減策の準備をお願いする。	1		
27	市民への通告の仕方が不徹底。	1		
28	行政の在り方に疑問あり。当局は市長始め議員諸氏にもプラス面だけを説明しただけか。	1		
29	圧政としか思えない。「こんな良いものを国が50億、市が50億出して作ろうというのに何の文句がある?という姿勢はどこから来るのか。	1		
30	説明会もコンサルタント頼み、その費用も税金であろうと思うと税金を納めるのが嫌になる。	1		
31	民意こそを慮るべきなのに自分達の内輪だけで忖度し、国民、市民には自分たちの施策を押し付けようとする。目先の利にとらわれず、長期的にどうなるか、どうすべきかを考えてほしい。	1		
32	他市の貯留管工事においてここまで反対の声が上がった例はない。	1		
33	手段が目的よりも優先されている。	1		
34	行政が市民を蔑ろにし、市民の気持ちに離反すれば、全員が共倒れになる。	1		
35	何もかも決めた後で「決まったことだから協力しろ」と云われても納得できない。	1		
36	様々な対策意見も出されているにも全く検討されない。	1		
37	市民が実際に喜ぶ治水対策に舵を変更してもらいたい。	1		

38	下水道部が計画・実施しようとしている雨水貯留管整備事業内容を見直し、変更するようお願いします。	1	1/8 ページ 回答(No.2~No.114)参照
39	住民への負担は必要最小限にすべき。	1	
40	この工事規模から考えまして、もっと郊外の大きな場所での工事にされた方が良いように思います。	1	
41	是非計画変更をお願いする。	1	
42	計画自体の見直しをご検討頂きたい。	1	
43	現状での事業計画では工事周辺住民は到底賛同できうるものではない。反対。	1	
工事場所について(35件)			
44	雨水貯留管整備工事によって、子どもの遊び場、保育園児の活動の場、高齢者の憩の場、震災時の避難場所である公園が長期間使用できなくなる。	1	
45	狭小生活道路に囲まれた小さな公園が工事現場候補となっているが、近隣住民に与える危険、不安によって住民が反対すると予想しなかったのか。	1	
46	矮小な生活道路に囲まれた公園を7年間閉鎖して行う治水対策は市政の柱である「子育て支援」の観点から練り直すべき。	1	
47	完成まで7年もかかる大規模工事を住宅街の公園を使用し、歩道もない生活道路をダンブカーが往来する工事はどうなのか。	1	
48	子供たちの肉体の成長等の大きな役割を担っている公園を7年間も閉鎖するということを再考してほしい。	1	
49	他の場所、他の方法に知恵を絞ってほしい。	1	
50	長期工事による公園閉鎖のみならず、工事によって貴重な樹木が伐採されることは、断じて許しません。	1	
51	樹木(樹齢50年)の移植(初めの頃は撤去)や伐採は地球温暖化CO2削減に逆行。	1	
52	公園を城の越は6年、鳥場2年、東武庫2年間閉鎖することと、保育所をどどん民間に任せることは矛盾する。ビルの一室で営む民間保育所は公園が園庭である。	1	
53	まちのシンボルツリーである大木は移植候補だが、経験のない移植が成功するとは思えない。	1	
54	緑の創出が新たに必要ならば、なぜ鳥場公園の今ある緑を消失させる選択をするのか。	1	
55	工事現場を鳥場公園から変更して公園の緑を失うことのなきようお願いする。	1	
56	鳥場公園を工事現場に決定した選定方法が論理的な根拠を示していると思えない。	1	
57	工事場所さえ変更すれば、歓迎されるべき浸水対策事業となる。	1	
58	公園が使用できなくなる。	1	
59	7年間公園を閉鎖して工事を行うことは反対。	1	
60	公園が使用できなくなるのは困る。	1	
61	住宅密集、道路せまい。	1	
62	この公園で過ごした時間は次の世代に受けつがれ、沢山の子供達にとってかけがえのない場所になっている。	1	

63	市長は子供のことを沢山考えて当選されている。その子供達の一番の遊び場所である公園を7年間もうばう工事に私は絶対反対。	1	1/8 ページ 回答(No.2~No.114)参照	
64	市の説明を受けたとき、公園を見に行ったら、遊んでいる子供があまりいなかったと言われ、びっくりした。	1		
65	身体を使って遊べる場を無くす時期が長くなる事は大変困る。わざわざ利用度の高い公園でなくても良いのではないか。	1		
66	子どもが安心して遊べる公園がなくなるのは困る。	1		
67	他の場所を検討してほしい。	1		
68	十分にあそべる公園がこのあたりには少ない上に工事中使えなくなるとするのは困る。	1		
69	場所を見直してほしい。	1		
70	子どもの遊び場の保障がとても大事。	1		
71	城の越公園は大きい広場があり使いやすい。少しの間と言えど使えなくなるのは困る。	1		
72	地域の人や子ども達の交流の場やあそび場が少なくなるのは反対。	1		
73	他の場所に埋設することはできないのか。	1		
74	城の越公園が使用できなくなるととても困る。	1		
75	時期や場所など再考してほしい。	1		
76	公園がなくなると困る。子どもはどこで安心して遊べばいいのか。	1		
77	子供達が遊ぶ公園がなくなると困る。	1		
78	7年間も公園を閉鎖され、子供は遊べなくなるし、工事の車で通行の妨げになり、通学の妨げにもなり大変。	1		
工事について(10件)				
79	雨水貯留管整備工事の工期短縮、住民が納得する工事方法を考えてほしい。	1		
80	浸水対策に7年もかからない計画を立てて欲しい。	1		
81	期間を短縮できる方法を考えて欲しい。	1		
82	長期間工事で近隣住民負担が著しく高い。	1		
83	7年間は長すぎる。工事短縮や工事方法を住民納得いく型で検討して頂きたい。	1		
84	シールド工法で公園を100%占有しての工事は前例がない。	1		
85	なぜ7年間なのか。	1		
86	工期短縮を考えてほしい。	1		
87	7年間も長期間にわたって住宅街でなされる工事は許されるのか。	1		
88	城の越公園周辺では、7年間にわたり工事が継続される計画である事から、安全管理面、環境への配慮(騒音、粉塵など含め)など安心、納得できるご説明を受けた上でしか同意できるものではない。	1		
安全について(10件)				
89	車輛通行による通学路や生活道路での危険増加に対しての具体的対策案や責任所在を明確にしていない。	1		

90	生活に密着した小さな公園で、本事業を実施することは前例がなく考慮すべき。理由鳥場公園を工事現場とすることは、安全な市民生活を脅かすことほかならない。	1	1/8ページ 回答(No.2~No.114)参照
91	児童の通学時間帯は工事を市内とおっしゃっていましたが、朝の通学、昼以降の学年バラバラの下校時間、児童のそれぞれの活動のための移動に全て合わせて工事時間を融通できるのでしょうか。	1	
92	市民生活の不具合や子ども達の安全を無視した地域を知らないコンサルタントの設計事務所が立てた机上の空論である。	1	
93	工事車両が狭い道路を1日に70往復する危険。	1	
94	工事によって近隣はトラックの出入りなどで、危険を伴うことになる。	1	
95	工事車両も通るということで、安心して散歩にも行けない。	1	
96	工事車両がたくさん出入りすることは危険。	1	
97	工事の車がどンドン出入りするというのは危険ではないか。	1	
98	子どもの安全がとても大事。	1	
環境について(16件)			
99	雨水貯留管整備工事が始まると騒音、振動に悩まされ我慢する事を強いられる。	1	
100	7年間も騒音、振動、粉塵に耐えることはできない。	1	
101	7年間も振動や騒音で市民生活を脅かすのではなく、別の地域の方にも納得できる計画を考えて欲しい。	1	
102	3箇所の公園が使用できなくなることによる振動・騒音・健康被害など多大な問題が発生することが考えられる。	1	
103	重機からの騒音や排気ガスに対しての具体的対策案や責任所在を明確にしていない。	1	
104	7年間の大規模工事によって、近隣住民は、日常の騒音、振動、重機の出入り、排気ガス問題など測りしれない苦痛を受ける。	1	
105	長期間騒音振動に悩まされる。	1	
106	騒音振動の被害の大きさをもっと考えるべき。	1	
107	7年も騒音振動に苦しめないでほしい。	1	
108	騒音振動が不安。	1	
109	工事による騒音・振動は通常のものをはるかに超えると想像します。	1	
110	空気も、子どもたちの身体に害を与える。	1	
111	音やトラックの出入りは周辺住民の生活にも支障が出る。	1	
112	安全に安心して毎日をすごせるように、長期間にわたる環境の変化を伴う工事に反対する。	1	
113	工事車両が通ることにより、騒音や砂ぼこり等も発生するので、反対。	1	
114	周辺住民の生活環境への悪影響など軽視してでも実行可能との関係当局の姿勢に納得がいかず大きな不信感を持っている。	1	

	整備ルートについて(1件)		[その他] 近年では、平成11年6月(立花駅周辺等)および平成25年8月(市内ほぼ全域)に50cm以上の浸水実績があり、床上浸水が発生しております。 国では当面5年に一度、中長期的には10年に一度の大雨に対する安全性を確保することを目標としております。尼崎市においては、すでに6年に一度の大雨(46.8mm/h)に対応する整備が概ね完成しており、現在、10年に一度の大雨(51.7mm/h)に対応する整備を進めているところです。 武庫分区の浸水被害の原因は、地盤の高い上流域から下水道管を通じて下流域へ雨水が流れ込むため、下流域の流れが阻害されることにより浸水被害が発生するものです。 本事業は、武庫分区の現在の計画降雨量を上回る河川放流が認められないため、ポンプ能力の増強で対応できないことから上流域の雨水を貯留することで下流域の雨水の流れを確保するとともに武庫分区全体の排水能力を上げることにより広範囲の浸水被害の軽減を図ることで、十分に費用の投資効果はあるものと考えております。
115	何十年も浸水被害がないので、工事は必要ない。	1	
	手法について(3件)		
116	中期ビジョンにおいて位置づけているが、浸水対策にならないこの事業をなぜ実施するのか理解できない。近年・今後の以上豪雨を想定すればビジョンを見直すことを優先すべきではないか。	1	
117	国が策定している災害対策にそった10年確率降雨ではなく、本市の実態に即した浸水対策を計画していただきたい。	1	
118	最近の超過降雨を見ると、10年確率にこだわっていてもあまり意味がないように思えます。柔軟な発想でその状況に応じた、または先を見越した浸水対策としていただきたい。	1	
	効果について(17件)		
119	雨水貯留管工事がわずか4.9mm/hr減という極小の効果に対して100億円という莫大な費用かける投資効果が不明確。	1	
120	雨水貯留管工事の予定されている地域では、水害を被ったことはなく、この事業の必要性が理解できない。莫大な税金を使い、長年にわたり地域住民に多大なる負担を強いる割に全く意味のない工事には断固反対します。	1	
121	雨水貯留管事業は誰のために実施するのか疑問。	1	
122	「浸水被害対策を目的にと事業に取り組む」ということですが、降雨時の下水を2万m3貯留することがなぜ浸水対策になるのか。ニロック排水能力で見れば、3~4分足らずで排水できる量である。	1	
123	本計画の客観的で説得力ある数値根拠が不足しており、計画に不備不足があるとしたか評価できない。	1	
124	51.7mmの降雨では十分な対策にならず、水たまり抑制に過ぎない。	1	
125	「集中豪雨」に対しては、雨水貯留管では対応不可能だと思われます。理由「集中豪雨」とは100mmから数百mmの雨量をもたらす雨のことをいいます。この事業の目的51.2mm/hでは達成不可能です。	1	
126	費用対効果の数値が出せない。	1	
127	費用便益比を算出していない。	1	
128	費用対効果が低く、事業決定のプロセスが住民不在のため、全く説得力が無い。	1	
129	効果がないと分かっている上、市民に我慢を強いる工事内容で、浸水被害地域住民と工事周辺地区住民は誰も喜ばない。	1	
130	中途半端な計画を実施し、将来の追加事業が必要で、無駄な計画になりかねない。	1	
131	甚だ費用対効果に劣る水準であると感じる。	1	
132	浸水被害に関して軽減ではなく、完全に影響が出ないレベルの設備整備を求めた場合の費用が夢物語のようなレベルの計画は、根本的に見直す必要がある。	1	
133	100億円をかけて行う公共事業としての費用対効果に大きな疑問を呈する。	1	

134	住民が支払っている税金から莫大な費用を費やし、早急に進めなければいけない事案とおもえない。	1	6/8 ページ 回答(No.115~No.135)参照	
135	100億円の予算を使っても、突然の豪雨に対応できるのか否かは分からないとのこと、中途半端すぎないか。無駄遣いに思う。	1		
下水道以外の浸水対策について(6件)				[その他]
136	浸水対策は、兵庫県が武庫川流域総合治水推進計画の中で推奨している校庭貯留、公園貯留などのオンサイト貯留による流域対策を進めるべき。	1		本市では、市全体で取り組む「ながす」、「ためる」、「そなえる」という浸水被害対策として策定した尼崎市総合治水対策基本ガイドラインに定められている浸水対策に基づき、道路、公園、河港、下水道の関連部局等が連携し浸水対策を実施しております。その中で、雨水貯留管整備事業は、下水道が主体となり進める浸水対策です。
137	立花地区の浸水対策は下水管きょだけでなく用水路や側溝を含めての対策が必要ではないか。	1		
138	各家庭でできる対策を案内することで、住民で協力できる対応があると考え。時間帯によって上水道の水圧を下げ下水道への流入量を減らすことができると考える。	1		
139	下水道だけで浸水被害対策を進めることは非効率で税金の無駄づかいである。道路・側溝・水路・河川での対策がより合理的である。	1		
140	合流式下水道では異常降雨には対応できない。当計画は下水道に偏り過ぎた施策であり見直しを求める。	1		
141	浸水対策は、下水道部だけの問題ではなく、尼崎市全体または県レベルや隣接する大阪の一部とも連携し、総合的に計画・実施していくべきである。	1		
末端増補管・浸透管について(2件)				[すでに盛り込み済み]
142	貯留管事業は工期が長く、末端増補管整備による対策工事を短期間で実施し、早期に浸水対策を講じるべき。	1	下水道部が浸水対策として行っている浸透管については、計画降雨を超える雨への対策工事であり、武庫分区内においても、一部実施済みです。また、計画降雨の引き上げのための末端増補管整備については一部実施しておりますが、これらの工事では武庫分区分全体の雨水整備水準を引き上げることができないため、雨水貯留管が必要不可欠であると考えております。	
143	武庫分区分に浸透ますや浸透管の設置案が考えられないか。	1		
下水道浸水被害軽減総合策定マニュアルについて(2件)			[その他]	
144	「下水道浸水被害軽減総合策定マニュアル」では「地区ごとに想定される被害に応じた目標を設定して、限られた財源を効率よく配分するよう指導している」が、当計画は武庫分区分全体の降雨水準を一律に引き上げることを目標としており、国の指導を逸脱している。	1	下水道浸水被害軽減総合策定マニュアルは、国の交付金事業制度の「下水道浸水被害軽減総合事業」を利用し事業を実施する際に作成が必要となるもので、過去10年間の床上浸水被害が50戸以上、延べ浸水被害200戸以上で、床上浸水回数が2回以上発生している等が交付の要件になります。本市につきましては、この要件を満たしておりませんので交付対象ではありません。	
145	国交省の「下水道浸水被害軽減総合計画マニュアル」では数値目標より浸水地域の被災者に重点を置く対策を実施するよう定めている。浸水地域はJR立花駅近くの数か所に限局している。これらを対象にした浸水被害軽減対策は、今回の計画に盛り込まれているのか。	1		
社会資本整備総合交付金チェックシートについて(3件)			[その他]	
146	社会資本整備総合交付金チェックシートについて、①事業実施に向けた機運がある。この部分について、どのような場面で誰が判断されたのか、具体的に教えてください。	1	社会資本整備総合交付金チェックシートは、5年間の計画記載事業すべてにおいて整備計画の目標の妥当性や実現可能性について検証を行うものです。計画記載事業については、平成23年度に下水道運営審議会において下水道事業の今後10年間の基本方針をまとめ、その中で、浸水対策事業については、10年確率降雨への雨水整備水準の引き上げを審議し、その後、パブリックコメントを踏まえ、中期ビジョンとして策定しております。そのような経緯をもってチェックシートを記載しております。	
147	社会資本整備総合交付金チェックシートについて、②計画について住民等との合意が形成されている。いつの説明会でこの住民とどのような内容で合意がとれたのか、わかる説明を求める。	1		
148	社会資本整備総合交付金チェックシートについて、①事業実施に向けた機運がある。②計画について住民等との合意が形成されている。この部分について、どういう背景で○がついているか理解できない。	1		

排水方式について(6件)		[その他]
149	下水道管から溢れた汚水を貯留するのだから「汚水貯留管」ではないのですか。	1
150	合流式下水道管からなぜ貯留するのか。下水道管内は全て汚水なので排水するには除化処理が必要となりコストアップになる。	1
151	なぜ分流式下水道を考えないのか。水路・運河に恵まれ海に面した尼崎市の立地に応じた知恵をだし、対策をなぜしないのか。	1
152	下水混流であるため、雨水貯留管ではなく、下水貯留と表現すべきである。	1
153	長距離にわたる貯留管内からの汚泥除去方法や費用、請負業者の有無が不透明。	1
154	再利用もできない汚水混じりの雨水を溜めるとは。溜めるなら何があっても危険でない雨水のみであるべきである。分流方式がよい。	1
組織について(2件)		[今回の意見公募の対象としていないもの]
155	都市整備局と引き離され、公営企業局として新設されたことが、総合的な浸水対策ができない要因になっていないか。	1
156	下水道部は公営企業局とするよりも都市整備局のままの方が災害対策等で連携できるのではないか。	1
処理場・ポンプ場の運転操作等業務委託(2件)		
157	県の南武中継ポンプ場や運転管理業務の受託事業者と連携し、これまで同様、災害等に対応すること。	1
158	下水道の処理場・ポンプ場の民間委託については、包括的民間委託と一部委託があるのはなぜか。包括的民間委託で問題がないという実績があるのであれば、すべて包括的民間委託にすればよいのではないか。	1
<p>[すでに盛り込み済み]</p> <p>ポンプ場や浄化センターにおける運転管理業務の一部を委託した後もこれまでと同様に、県の南武中継ポンプ場等との連携を行いつつ、市民生活等の安心・安全を支える下水道サービスの継続に努めます。また、災害等が予想される状況においては迅速に対応します。</p> <p>[その他]</p> <p>下水道施設の運転管理業務を民間委託する場合には、業務の実施方法の違いに応じて複数の手法がありますが、平成31年度から実施する民間委託は、中継ポンプ場等の平日の夜間と休日の運転管理に限定した業務であるため、包括的民間委託でない業務委託の手法を選択したものです。</p>		